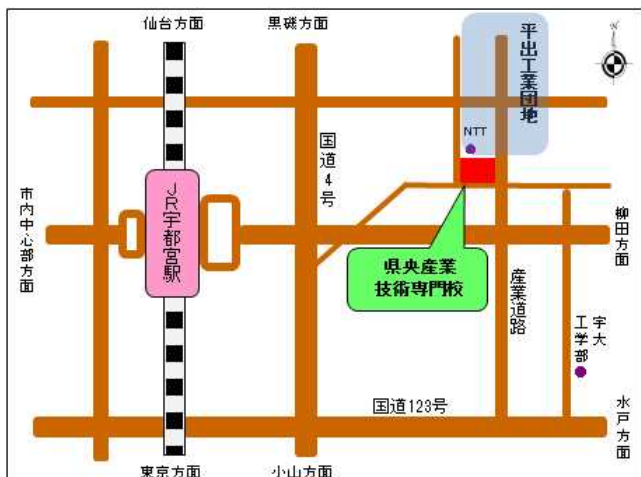


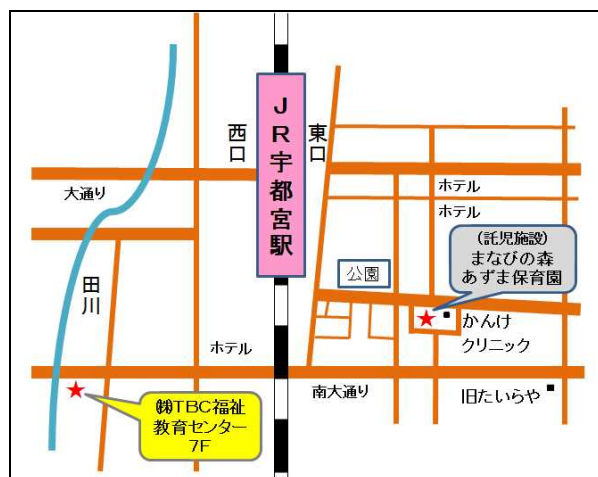
介護職員初任者研修科 託児サービスあり

県立県央産業技術専門学校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に、職業訓練を実施いたします。

1. **受講対象者** 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方。
2. **定員** 15名（一般離転職者） 5名（ひとり親家庭の父母）
3. **訓練期間** 2か月 平成29年9月1日(金)から平成29年10月31日(火)
 *ひとり親家庭の父母は、就職支援セミナーを、必ず受講してください。
平成29年8月30日(水)から31日(木)午前9時30分から午後3時30分
 訓練時間 午前9時30分から午後4時30分まで 6時間
 休日 土・日・祝日及び校長が定める日とする。
4. **訓練実施場所** (株)TBC福祉教育センター
 宇都宮市南大通り2-1-2 TBC学院ビル7F（駐車場はありません。）
5. **訓練内容** 別紙、訓練カリキュラムをご覧ください。
6. **受講料他** 受講料は無料です。但し講習用テキスト代 5,400円が必要です。訓練生総合保険料(2,400円+振込手数料)は希望者が加入します。消耗品・資格取得に係わる費用は受講者の負担です。
7. **募集期間** 平成29年7月3日(月)～7月31日(月)
8. **選考日時** 平成29年8月9日(水) 選考は午前10時からです。(受付は午前9時30分から50分まで)
9. **選考会場** 県立産業技術専門学校（本館3階 視聴覚教室）
 宇都宮市平出工業団地 48-4(車の方は本校グラウンドに駐車してください。)
10. **選考方法** 提出書類・適性試験(30分、50問)・面接試験の結果により、総合的に選考します。
11. **試験結果の簡易開示** 適性試験の得点については、口頭で開示を請求することができます。開示を希望する場合には、受験者本人が合格通知書又は結果通知と写真付き身分証明書を持参の上、県立産業技術専門学校までおいでください。電話、はがき等による開示請求はできません。
12. **その他** *託児サービスを希望の方は、別紙託児サービス内容を確認の上、入校願書と共に利用申込書を提出下さい。
 ①指定の入校願書及び履歴書にご記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
 ②選考には、筆記用具等、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)を持参してください。辞退する場合は電話連絡をしてください。
 ③応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。予めご了承願います。



(選考会場) 県立産業技術専門学校
TEL : 028-689-6380



(訓練実施場所) (株)TBC福祉教育センター
TEL : 028-651-2171

訓練カリキュラム

株式会社TBC福祉教育センター

訓練科名	(県央校) 介護職員初任者研修科 (9月コース)		就職先 の 職務	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉・医療施設における介護業務 ・在宅介護業務 ・訪問介護業務 ・看護助手 	
訓練期間	平成29年9月1日～平成29年10月31日 (2ヵ月)				
訓練目標	介護職員初任者研修の学習を通して介護に関する正しい基礎知識を身につけ、広い視野を持った介護員を目指す。高齢者・障害者の自立支援の担い手となり、介護業務関連へ即戦力として就職する。				
訓練 の 内 容	科目	科目の内容	訓練時間		
	学 科	オリエンテーション ワークガイダンス講習	オリエンテーション・就職支援 アイスブレイク・自己開示・ビジネスマナー・コミュニケーションの基本・自分の強み弱みの表現	6 15	
		職務の理解 介護における尊厳の保持・自立支援 介護の基本	多様なサービスの理解・介護職の仕事内容や働く現場の理解 人権と尊厳を支える介護・自立に向けた介護 介護職の役割、専門性と多職種との連携・介護職の職業倫理・介護における安全の確保とリスクマネジメント・介護職の安全	9 12 15	
		介護・福祉サービスの理解と 医療との連携 老化の理解 介護におけるコミュニケーション技術 認知症の理解	介護保険制度・医療との連携とリハビリテーション・障害者総合支援制度の理念およびその他の制度 老化に伴うこととからだの変化と日常・高齢者と健康 介護におけるコミュニケーション・介護におけるチームのコミュニケーション	21 9 12	
		障害の理解	認知症を取り巻く状況・医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理・認知症に伴うこととからだの変化と日常生活 障害の基礎的理解・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識・家族の心理、関わり支援の理解	12 6	
		こととからだのしくみと 生活支援技術	介護の基本的な考え方・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・移動・移乗に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・食事に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・入浴・清潔保持に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・睡眠に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・死にゆく人に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	18	
		振り返り 修了評価 実習の理解 就職支援	振り返り・就業への備えと研修修了後に継続的な研修修了テスト 実技・実習オリエンテーション(服装・持ち物・注意事項等) 就職活動の進め方と求人情報収集の仕方・職業相談・面談指導・履歴書作成 就職講話・企業説明会	5 1 9 12	
		実 技	こととからだのしくみと 生活支援技術	介護に関することとからだのしくみの基礎的理解・生活と家事・快適な居住環境整備と介護・整容に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・移動・移乗に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・食事に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・入浴・清潔保持に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・排泄に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・睡眠に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・死にゆく人に関連したこととからだのしくみと自立に向けた介護・介護過程の基礎的理解・総合生活支援技術演習	60
			実習(戸外実習)	施設サービス実習・訪問通所サービス実習	12
		訓練時間総合計234時間(学科162時間、実技72時間)			
主要な機器設備 (参考)		DVD、対模型、体温計、ストップウォッチ、血圧計、吸引器、浣腸器一式、介護機器、手洗い用具、毛布、運搬用具、ベッド、寝具一式、車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー・環境整備用具、温室時計、モデル人形、弁尿器、ポータブルトイレ、浴室、ケリーパット、口腔模型、アイマスク、調理・食事用具一式、介護実習用品一式、被服実習用品一式 他			

コース番号

107

訓練カリキュラム

株式会社TBC福祉教育センター

訓練科名	(県央校) 介護職員初任者研修科 (ひとり親家庭対象就職支援セミナー) (9月コース)		就職先 の 職 務	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉・医療施設における介護業務 ・在宅介護業務 ・訪問介護業務 ・看護助手
訓練期間	平成29年8月30日～平成29年8月31日 (2日間)			
訓練目標	企業が求める人材像や介護業界に必要とされている人材等を理解し、働くにあたっての基本的なコミュニケーション能力の向上を目指す。また、キャリア形成支援に重点を置き、個別カウンセリングを実施することにより自己理解と就職スキルの向上を支援する。			
訓練 の 内 容	科 目		科 目 の 内 容	訓練時間
	学 科	就業の理解	介護業界が求める人材像、介護業界の現状	3
		職業適性の理解	自己分析、自己職業適性の理解	1
		コミュニケーションの基本	コミュニケーションの定義 コミュニケーションの目的 コミュニケーションの心構え	2
		職業能力開発の理解	職業訓練・自立支援制度・教育訓練給付金 企業補助制度について	1
実 技	職業適性の理解	就職先に求める条件の整理 社会人としての職業観(個別カウンセリング)	3	
訓練時間総合計 10時間(学科 7時間、実技 3時間)				
主要な機器設備 (参 考)				